

# ほえ美

社会福祉法人 **緑新会** 笑顔いさいば、心豊かに

令和2年1月発行 **vol.52**



休止しておりました「デイサービスセンターたんぽぽ」を定員10名で令和元年11月1日より再開しております。又、地域密着型特別養護老人ホーム新和苑あがんなっせと、グループホームしんわにそれぞれ設けておりました共用型デイサービスセンターにつきましては休止致しました。



夜空に光り輝く竹灯籠の灯り（大宮地竹灯籠組合主催）

去る12月21日に、大宮地はまぼう公園駐車場において、大宮地子ども会と共同による竹灯籠の点灯式が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの方々に来場いただき、その神秘的な灯りに歓声が上がっていました。この竹灯籠は、1月中旬まで展示される予定となっています。一度ご覧になってみてはいかがでしょうか！

## 新年のご挨拶

社会福祉法人 緑新会

理事長 船元 隆之

「地域と施設から学ぶ12月」

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春をご家族皆様でお過ごしのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、私はこの1年間、大宮地地区の役員として、活動を行ってきました。そこで気づいたことがたくさんあります。そのなかのひとつが、大宮地の地域のみならず、多くの地域において人口減少・高齢化の到来により、「今まで行ってきた行事が若者等の不足により、今後継続できるか」という課題に直面していること。昨年私たちの地域も、約5年前に行った行事の準備が数日前から行っていないと間に合わない状況となりました。多くの方々と意見交換を行い、自分なりに出した結論は、一番大切なことは「行事を継続していくことが大切」であり、そのためには過去のやり方や取り組み方の手法を見直すことが重要ではないかと思えます。

このことは施設におけるケアの部分についても類似していることだと思っています。高齢者介護も「措置時代」から「介護保険制度」へ移行し、「ご利用者様」に選択権が生じています。過去のケアの学びを活かしながら、見直すべきところは見直しを行っていく。培ってきた手法を見直すということは簡単そうで、実は困難なことでもあります。しかし、現状がニーズに合致しているかという「？」マークがついてきます。

令和元年の法人の理念の一つに「臨機応変」、「試行錯誤」、「創意工夫」を掲げ取り組んできました。誰のため・・・何のために・・・取り組むのか！

今年「見直すこと」「変化を求めていくこと」をテーマとしながら、公私ともにこの1年成長していけたらと思っています。

「無理はしない、でもあきらめない」の精神で・・・

